

北朝鮮の船漂着か



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2017年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

由利本荘署 男性8人を保護

23日午後11時25分ごろ、由利本荘市石脇の船舶係留施設「本荘マリナー」付近に、「不審者がいる」と、110番があった。駆け付けた由利本



国籍不明の男性8人が漂着した現場付近。警察が立ち入りを禁じている＝24日午前7時19分、由利本荘市の本荘マリナー

荘署員が国籍不明の男性8人を発見し、保護した。近くの消波ブロック付近では全長約20メートルの木造船も見つかり、8人は「北朝鮮から来た」と話しているという。県警は遭難した可能性があるとして、通訳を介して詳しい事情を聴いている。

県警によると、8人はいずれも成人男性。朝鮮語のような言葉を話し、自力で歩ける状態だという。仙台入国管理局の担当者も同署を訪れ、状況を確認している。木造船には、夜間に水面を照らして魚を誘い寄せる「集魚灯」が付いていた。

北朝鮮のものと思われる船の漂着は日本海側で

相次いでいる。多くが流失や遭難した船とみられるが、2007年6月には脱北者の家族4人が木造船で青森県深浦町に着岸。11年9月には石川県の能登半島沖に脱北者の男女9人が乗った小型船が漂着した。12年1月には島根県の隠岐島近海で生存者3人と遺体1体に乗った船が漂流しているのが見つかった。

本県では15年11月1日に三種町で木造船、2日には男鹿市で男性の遺体と木造船の一部とみられる多数の木片が見つかった。18、19日には能代市で一部白骨化した男性の遺体2体と木造船が発見された。